

火災予防条例が強化されます

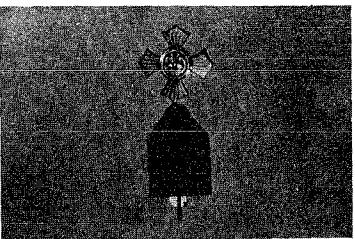
六月中旬に改正

現行の火災予防条例が制定され、から早くも十年の歳月が流れ、この間めざましい産業技術の発展およびエネルギー革命により新らしい形態の火を使用する設備、器具が多く現われました。これら社会情勢の変化と関係法令等の改正をふまえて市町村の予防行政をもあわせて次のような内

容で火災予防条例が改正されます。改正条例の適用は六月中旬となる予定です。

日本赤十字銀色有功章授与

月潟村長に



五月二十四日比谷公会堂にて昭和四十八年度全国赤十字大会が名譽総裁の皇后陛下の御台臨仰くと共に、秋宮殿下、高松宮妃殿下、三笠宮妃殿下、三方の御臨席を頂き盛大に挙行されました。其の大会に現村長に赤十字銀色有功章が授与されました。この有功章を受ける条件としては自治体首長の地位にあること十二年以上の者、又は拾万円以上の金円を日本赤十字社に寄贈された篤志家に授与されるものであります。

愛で献血のしよう

◎献血について皆さんの御協力をいただき、感謝いたします。輸血車が来ます。輸血を必要として苦しんでいる人のために御協力をお願ひします。

◎血液の量は普通成人者の場合体重の $\frac{1}{12}$ から $\frac{1}{13}$ 程度です。この50kgの人で四千cc位です。この中から二百ccを採血しますが、健康には全く影響はないといわれています。採血前には医師が充分な健康を確かめてから採血いたします。16才以上65才未満の方なら、五分の一以上の危険物の取扱いなどでも献血できます。又採血

沸器については六十センチメートル以上離して取りつけなければなりません。固定式ストーブの煙突等を接続する場合は容易に離脱せずかつ燃焼排気が漏れない構造とし、火の粉の飛散防止装置を取りつけなければなりません。

(2) 固定式ストーブの煙突等を接続する場合は、钢管又はタンクの場合保有空地一メートル以上、他の容器の場合数量より一から二メートルの空地を設けなければなりません。

(3) 移動式ストーブは、地震等により自動的に消火する装置又は、自動的に燃料の供給を停止する装置を設けたものを使用しなければならなくなります。ただし、現に使用しているストーブは、昭和五十二年九月までそのまま使用できますが、これから買ひ替えられる場合は装置の有無を確かめて装置されてるものをお求め下さい。

① 屋内において貯蔵、取扱いをする場合は壁、柱、床、天井を不燃材料で造り又はおおい、開口部には甲種、乙種防火戸を取りつけ、換気設備を設けなければなりません。

② 屋外において貯蔵、取扱いをする場合は、壁、柱、床、天井を不燃材料で造り又はおおい、開口部には甲種、乙種防火戸を取りつけ、換気設備を設けなければなりません。

③ 貯蔵、取扱いの届出は個人の住居で貯蔵し、取扱う場合を除いて消防署に届け出なければなりません。

④ 防火戸を取りつけ、換気設備等により容器の転倒、転落又は落下物の防止措置などを講じなければなりません。

⑤ 危険物(ガソリン、灯油等)の貯蔵、取扱いの量に關係なく、すべてにわたって「火氣の取扱い行為の禁止」及び「漏れの防止」、「粗暴な取扱い行為の禁止」及び「火氣の取扱い行為の禁止」及び「漏れの防止」、「粗暴な取扱い行為の禁止」及び「漏れの防止」等により容器の転倒、転落又は落下物の防止措置などを講じなければなりません。

⑥ 指定数量未満、指定数量の五分の一以上の危険物の取扱いなどでも献血できます。又採血

(指定数量とはガソリン百リットル、灯油、軽油五百リットル、重油二千リットルです。)

① 屋外において取扱う場合は鋼製ドラム又はタンクの場合保有空地一メートル以上、他の容器の場合数量より一から二メートルの空地を設けなければなりません。

② 屋内において貯蔵、取扱いをする場合は壁、柱、床、天井を不燃材料で造り又はおおい、開口部には甲種、乙種防火戸を取りつけ、換気設備を設けなければなりません。

③ 貯蔵、取扱いの届出は個人の住居で貯蔵し、取扱う場合を除いて消防署に届け出なければなりません。

④ 防火戸を取りつけ、換気設備等により容器の転倒、転落又は落下物の防止措置などを講じなければなりません。

⑤ 危険物(ガソリン、灯油等)の貯蔵、取扱いの量に關係なく、すべてにわたって「火氣の取扱い行為の禁止」及び「漏れの防止」、「粗暴な取扱い行為の禁止」及び「漏れの防止」、「粗暴な取扱い行為の禁止」及び「漏れの防止」等により容器の転倒、転落又は落下物の防止措置などを講じなければなりません。

⑥ 指定数量未満、指定数量の五分の一以上の危険物の取扱いなどでも献血できます。又採血

昭和四八年六月十日

広報つきがた

昭和四八年六月十日

広報つきがた

◎実施計画の内訳
普通転作
一、三ha

これにより耕軒から収穫、乾燥、

普率は急速に高まりつつあり、

これまで手植えだけで実施

してしまいましたが、機械植、

これにより耕軒から収穫、乾燥、

普率は急速に高まりつつあり、